

## 1. 高崎・安中地区の果樹産地活性化

(対象: 西部農業事務所普及指導課)

### 【評価できる点】

- (1) 地域の主力作物であるナシ、ウメに絞った課題設定であり、また、目標（改植、天敵導入）に対する実績もほぼ達成しており、これからも期待できる。
- (2) ウメ、ナシの加工品開発には、引き続き取り組み、観光地における土産品になるような商品を期待する。
- (3) 今までの経験を生かして試行錯誤しながら、目的に向かっている姿勢は評価できる。

### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

#### 1 課題や目標設定に関すること

##### ◆意見・要望

- (1) 産地としての担い手不足、生産性の低下などの対策は、中長期的な問題点として取り組んで欲しい。
- (2) 一部の特産品に焦点を当てているが、他の作物も取り上げて欲しい。
- (3) ナシ、ウメでの温暖化に対応した栽培方法や外来生物への対応を、引き続きお願いしたい。

##### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 果樹産地の担い手対策は重要な課題と捉えています。  
引き続き、該当地域を重点に中長期的な担い手受入体制を整備するとともに、耐暑性及び生産性に優れ、消費者ニーズにマッチした優良品種への改植・新植を推進し、産地維持につなげていきます。
- (2) 今回は、ウメとナシを主体とした取り組みを報告しましたが、他品目ではスモモにおける除草作業等の省力化を目的に、「スマート農業」の導入推進を図っています。引き続き、樹種ごとに課題を整理して取り組んでいきます。
- (3) ナシにおける地球温暖化への対応としては、消費者ニーズを反映しつつ近年の気象変化に対応するため、高温に強く、かつ現地適応性が認められた優良品種への改植について、生産部会や関係機関と連携して取り組んでいきます。

続いて、難防除害虫の対応については、令和2年に管内で初めてクビアカツヤカミキリが確認されて以降、発生地域・発生量が拡大しています。引き続き、関係機関と連携しながら、効果的で効率的な拡散防止対策を講じていきます。また、モモヒメヨコバイについては、同年9月にウメで初確認されて以降、ウメやスモモで被害が急増しています。そのため、本虫の防除実証を設置し、発生消長や防除対策の実証を行い、実績検討会等を通して防除体系の確立を目指していきます。

#### 2 活動内容に関するこ

##### ◆意見・要望

- (1) ウメの収穫実習の受け入れなど、地域の農業者へ周知されていないように感じた。

また、次年度以降の学生との協力体制や成果をどう現地へ周知するのか。

- (2) ウメ、ナシの加工品開発は引き続き行って頂きたい。学生主体の取組のきっかけや成果がよくわからなかった。企画段階から学生以外の料理講師、マーケティングアドバイザーなどのメンバーを入れ、市場調査をしてから開発する方法も重要。

#### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 今後、JAを通じて部会内の周知が行われるよう調整していきます。また、次年度以降、2か年実施したウメ収穫作業で得られた成果や課題に基づき、新たな担い手・労働力確保の取組を進めていきます。
- (2) ブランディング支援事業（ぐんまブランド推進課）の市場調査などを参考に、産地PRの一貫としてウメ、ナシの加工品開発を継続して支援していきます。高崎健康福祉大学の学生と協力して若い世代のアイデアを取り入れつつ、市やJAを巻き込んだ継続的、効果的な企画・加工品開発を実践できるよう、努めていきます。

## 2. 地域農業維持・発展に向けた若手担い手の確保

(対象：西部農業事務所普及指導課)

### 【評価できる点】

- (1) 多様な担い手の確保・育成は喫緊の課題であり、そこに着目した課題設定は評価できる。
- (2) コロナ禍の対応として、オンライン就農相談や新規就農者フォローアップのためのクラウド版電子カルテなどを活用し、効率良く実施していることは評価できる。
- (3) 新規就農者の育成指導、若手女性農業者への講座など、充実した活動を進めている。

### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

#### 1 課題や目標設定に関すること

##### ◆意見・要望

- (1) 事業についてのアイデアや他地域組織との交流やマッチングなどがあっても良い。
- (2) 目標とする数字（到達目標）が各年次でほぼ同じである等、項目設定について、もう少し工夫が必要。
- (3) 担い手の確保、若手農業者への支援とリーダー育成をお願いしたい。

##### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 農業青年クラブや女性農業者組織を対象に、事業のアイデア等についてアンケート調査を実施するなど、現状の要望を把握するとともに、次年度普及計画の策定に向け所内においても検討の上、取り組んでいきます。昔と比べて農業青年クラブ員の平均年齢が上がり、経営主となっているクラブ員もいることから、レクリエーション要素の強い仲間づくりから、経営改善に直結する活動を通じたネットワークづくりに取り組むなど、魅力ある活動を模索していきたいと考えています（2(3)の項を参照）。  
また、管内ではこれまで3つの農業青年クラブが個別に活動してきましたが、各組織とともにクラブ員の減少に伴い活動が停滞しつつあることから、合同事業を企画し、クラブ間の交流を促進したいと考えています。
- (2) 成果指標は、過去の実績データの平均を使用しましたが、その指標の値が妥当だったか、また指標の内容についても検討し、次年度計画に反映させていきます。
- (3) 担い手の確保は最重点課題として考えています。関係機関や産地と連携し、新規就農者の受入体制の整備を進めるなど、新規就農者を積極的に確保できる支援体制の構築に取り組みます。また、新規就農者に対し経営計画の策定や、地域になじめるような内容の研修会を開催するとともに、農業青年クラブ活動を通じた仲間づくりと、県のリーダー認定制度（経営士、アドバイザー、青年農業士）を活用した地域リーダーの育成を図っていきます。

#### 2 活動内容に関するこ

##### ◆意見・要望

- (1) 地域おこし協力隊員への就農PR、女性就農者へのイメージアップ（例、作業服を

企画販売している企業等と連携した農業ファッションのPR)にも取り組んではいかが。

- (2) 普及指導員が一生懸命現場の活動に取り組んでいるが、規模の小さい農家にも出向いて、農家の指導をお願いしたい。
- (3) 農業青年クラブに、加入したくなる事業を検討して欲しい。
- (4) 農業青年クラブ、若手女性組織によるプロジェクトは、いずれも重要である、着実に進めていただきたい。

#### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 就農者の確保に向けては、関係機関と連携した推進を図りつつ、地域おこし協力隊制度を活用した就農支援についても、市、JAと連携し取り組んでいきます。また、女性就農者の活躍の場づくりや経営に参画するための支援を行い、若い女性が職業として農業に興味をもってもらえるよう、取り組んでいきます。  
また、農業構造政策課が発刊した「きらりと輝くぐんま農業女子 Magazine」に、当管内の女性農業者の活躍やライフスタイルを紹介するなど、女性農業者に対するイメージアップに取り組んできたところです。今後も、県庁内組織と地域機関が一丸となり、イメージアップを図っていきます。
- (2) 現状では、限られた人員の中で集団を対象とした組織対応から個別対応まで、幅広く活動しています。今後もJA営農指導員と連携し、規模の大小は関係なく農業者の課題解決に向けた普及活動を展開していきます。
- (3) アンケート調査を実施するなど、現状の要望を把握し、今後の活動につなげていきます。また、農業青年クラブ活動を通じて経営計画の策定に取り組むなど、経営能力向上につながる事業を展開していきます。
- (4) 農業青年クラブ、若手女性組織ともに、会員それぞれの課題や目標などを明確にし、プロジェクト活動を通じて課題解決や目標達成に向けた支援を行っていきます。

## 令和5年度普及活動外部評価委員会

### 3. 多野藤岡地域の多様な担い手の確保と育成

(対象：西部農業事務所藤岡地区農業指導センター)

#### 【評価できる点】

- (1) 多様な担い手の確保・育成は喫緊の課題であり、活動内容も評価出来る。
- (2) ナスの管理作業動画は、わかりやすく技術の未熟な新規就農者の作業改善につながった。
- (3) 関係機関と連携した新規就農者へのきめ細かいフォローアップ支援は、就農後の定着にもつながっている。
- (4) 地域の状況にあったイチゴの経営モデルを作成することで、自己資金の少ない新規就農者に対しても、初期投資を抑えた就農が提案できることは評価できる。

#### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

##### 1 課題や目標設定に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) 到達目標としている「青年等就農計画売り上げ達成率」「経営モデル案の作成」は、第三者にはわかりにくいので、もう少し工夫が必要である。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) モデル案については第三者にもわかりやすいように作成していきたい。青年等就農計画売上達成率については、新規就農者にとって重要な指標だと考えております。普及計画に掲載する場合はわかりやすいよう、説明をつけたいと考えております。また、引き続き重点指導対象者に対し、経営の目標が達成できるようにしていきたい。

##### 2 活動内容に関するこ

###### ◆意見・要望

- (1) ナスの管理作業動画は、他の農作物や作業にも応用できるため、関係者で共有することで、効率的・効果的な指導につながることから、引き続き取り組みを拡大願いたい。
- (2) イチゴでは早期にモデルを確立して頂くと共に、他品目でも空きハウスの活用のための経営モデルの作成を期待している。
- (3) 空きハウスと新規就農者のマッチングは、地域おこし協力隊との連携やwebサイトの活用を試みてみても良いのでは。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 他地区の普及センターと、動画の共有を開始しました。さらに必要な作業の追加作業動画を他地区の普及センターと共同で作成を開始しました。
- (2) 現在、データの集積を行い、モデルを作成中です。今年度中にはイチゴモデルが完成する予定ですが、他の品目にも応用できるかどうか検討します。
- (3) 空きハウスと新規就農者のマッチングについての取り組みについては、藤岡市とも連携する予定です。地域おこし協力隊についての連携についても検討中です。

## 令和5年度普及活動外部評価委員会

### 4. 意欲ある担い手への支援によるイチゴ及び露地ナス産地の活性化

(対象：西部農業事務所藤岡地区農業指導センター)

#### 【評価できる点】

- (1) 地域を代表するイチゴ、露地ナスの現状把握を行い、強みを伸ばすという課題設定は明確であり、また、目標に対する実績も、ほぼ達成しており評価できる。
- (2) 意欲ある若手生産者の技術をあげ、産地を活性化させるという手法は評価できる。

#### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

##### 1 課題や目標設定に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) 到達目標のうち、出荷量等がJAのみの数字となっているが、JA以外の数値を把握するなど、地域全体の数字にすれば、よりわかりやすくなるのではないか。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 市場出荷以外の販売方法は多岐（庭先、直売所、ネットなど）にわたるので、把握しにくいという現状があります。当産地は、JA出荷を中心とする販売農家の割合が多いことから、今回の数値設定となりました。  
しかしながら、地域全体の状況を把握することは生産振興上、非常に重要であることから、数値の把握方法を検討し、わかりやすい目標設定を所内で検討します。

##### 2 活動内容に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) 近年、高温、少雨、降ひょうなど自然災害が頻発化しており、営農に影響が大きいため、管理対策等を早く伝えて欲しい。
- (2) やよいひめの「安定生産の手引き」を藤岡地区に広め、その際には、「手引き書」の取扱いに注意して欲しい（群馬県の「イチゴ」ブランドを確立して欲しい）。
- (3) 施設栽培でも連作障害対策を農業者へ指導して欲しい。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 気象災害の発生を把握した場合、すぐに関係機関と連携して現地調査をします。その際には被害状況に応じて、栽培品目ごとの事後対策をJAなどと連携して提供しています。さらにJA講習会などにおいても「高温」「台風」「ハウス強化」対策などについて、普段から必要に応じて注意喚起をしていますので、これからも継続して取り組みます。
- (2) 「藤岡地区やよいひめ安定生産の手引き」は、県内の普及指導員、営農指導員、生産者に限定して公開しています。これからも取り扱いに注意しながら藤岡地区の新規栽培者等への積極的な活用を進めていきます。
- (3) 施設栽培の連作障害対策については、日々の普及活動で助言を行うとともに、新しい技術や情報があれば栽培講習会等で伝えています。今後も、栽培品目や個々の経営に合った連作障害対策を提案できるように努めています。

## 令和5年度普及活動外部評価委員会

### 5. 多様な担い手の確保・育成と定着支援

(対象：西部農業事務所富岡地区農業指導センター)

#### 【評価できる点】

- (1) 目標、課題、改善手法が的確であり、課題設定の背景及び理由もわかりやすい。全体を通して評価できる。
- (2) ワンストップ就農相談などの相談体制の徹底が図れ、新規就農者の確保及び定着につながっている。

#### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

##### 1 課題や目標設定に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) 残された課題、反省点を生かし次につなげる工夫を模索してください。
- (2) すべてが重要で横並びはわかるが、その中でも芯になる事項から膨らませた方がわかりやすい。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) ワンストップ窓口を構成している市町村・JAの担当者のスキルアップのため、研修会や情報共有会を継続的に行います。  
また、新規就農者のフォローアップについては、農業基礎講座や複式簿記講座等を通じて、経営能力の向上を図りながら新規就農者の定着を図ります。
- (2) 担い手係の業務は、就農相談による新規就農者の発掘と新規参入者を含めた新規就農者の育成支援が車の両輪となっています。就農相談については、関係機関担当者のスキルアップを重点に活動を行います。

##### 2 活動内容に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) 関係機関と連携し、担い手担当者のスキルアップを図ることで、就農支援体制の強化及び就農支援の好循環サイクルを継続して欲しい。
- (2) 新規就農者向けの経営モデル案を作成し、確保育成に生かしたらいかがか。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 今後も担い手担当者向け研修会や情報提供を密接に行うことで、関係機関と連携した就農支援の充実を図ります。
- (2) 市町村基本構想をベースに関係機関と協議して就農相談者へ提示できる経営モデル案を作成します。

## 令和5年度普及活動外部評価委員会

### 6. 地域特産物における中核的経営者の育成と産地支援

(対象：西部農業事務所富岡地区農業指導センター)

#### 【評価できる点】

- (1) コンニャク産地の強化に向けての現状把握はしっかりと行われていることから、支援事項・解決方法、到達目標などが明確でわかりやすい。
- (2) 活動経過・今後の課題、対応について良く整理されており、更なるコンニャク生産拡大に期待したい。

#### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

##### 1 課題や目標設定に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) 担い手の高齢化や価格低迷などが続いていることから、担い手対策をすすめて欲しい。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 関係機関と連携して、重点的な栽培指導や経営指導を行うなど組織活動支援を核とした担い手対策を進めます。  
また、価格低迷対策は、収入保険の加入促進や経営補完作物の導入を進めます。

##### 2 活動内容に関すること

###### ◆意見・要望

- (1) コンニャクほ場越冬栽培の労働時間と資材費の減少は明らかであるが、導入拡大を図るには流通上の問題があることから、今後も農業者、関係機関と連携し情報共有を行って欲しい。
- (2) 管内生産者の3割が耕作をしている松義台地の営農に関して、引き続き焦点をあてて活動して欲しい。
- (3) 耕作放棄地対策として、コンニャクの補完作物（トウキ、ネギ類、サツマイモなど）やコンニャクに変わる新たな品目の検討をして欲しい。

###### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 農政部内関係部署や全農ぐんま、精粉業者等を交えた話し合いで安定的な流通経路の確保を図ります。
- (2) 次期計画においては、コンニャクだけではなく野菜類等の振興も視野に入れながら松義台地の営農振興について関係機関と連携し取り組みます。
- (3) 松義台地の耕作放棄地対策は重要な課題ですので、ネギ類の導入マニュアルを作成し経営補完作物の導入拡大を図ります。また、コンニャクに替わる新たな土地利用作物としてサツマイモの導入について、販路確保や生産者の掘り起こしを関係者と一丸となって取り組みます。トウキは夏季高温による生育不良となることが判明したので管内への導入は見送ります。